

様式1 管理運営状況評価書

【対象年度:平成25年度】 (④社会体育施設)

I 施設概要・利用情報 (単位:人、%、円、日)

番号	34	施設名	掛川市大須賀B&G海洋センター		担当課名	社会教育課	
区分			内容・説明				
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名		掛川市海洋センター条例				
	(2)施設設置目的		大須賀町民(合併前)の健康増進とスポーツ普及のため				
	(3)施設が有する設備、機能の概要		屋外プール(25m)、幼児プール1				
	(4)施設建設年度		昭和60年度				
	(5)耐震性能の有無		－				
	(6)将来予想される改修経費 (想定年度と費用見込み)		プール本体塗装修繕			濾過器濾材交換	
	(7)指定管理者名		特定非営利活動法人 掛川市体育協会				
	(8)指定期間		平成24年4月1日 から 平成29年3月31日 まで				
	(9)施設の管理運営形態		③指定管理料＋利用料金併用制度				
	(10)自主事業の有無		☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。				
(11)指定事業の有無		☐ 実施あり ☒ 実施なし ※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。					
(12)事業報告書提出の有無		☒ 提出あり(地自法第244条の2第7項による提出義務) ☐ 提出なし					
(13)利用者満足度調査等実施の有無		☒ 実施あり ☐ 実施なし ※実施ありの場合、(直近の実施年度 平成 年度)					

区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数		1,100	1,079	1,322		
	内訳 (施設・設備ごと)	室内プール	1,100	1,079	1,322		
	(2)稼働率(利用率)						↓ 備考欄に算定式を記入してください ↓
	(施設・設備ごと)	室内プール	A平日昼間	60.7%	52.5%		算出式: 利用者数 / (時間区分2 × 定員数: 30人 × 営業日数)
			B平日夜間				
			C土日祝昼間	55.5%	59.7%		
			D土日祝夜間	6.3%	11.5%		
			A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				
			A平日昼間				
			B平日夜間				
			C土日祝昼間				
			D土日祝夜間				

2 利用状況	(施設・設備ごと)		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考	
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名		NPO法人 掛川市 体育協会	NPO法人 掛川市 体育協会	NPO法人 掛川市 体育協会	NPO法人 掛川市 体育協会	※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入	
	(2)利用者一人当たりの運営経費		915	517	562			
	(3)運営日数		30	30	37			
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。	
		②臨時職員	0.0	0.0	0.0	0.0		

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

(単位:円、%)

区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
	①人件費	800,000	400,000	586,842	400,000	
	②印刷費	0	0	0	0	
	③通信費	41,026	38,663	39,181	42,000	

(1)運営コスト(A)	④事務用品、旅費、図書費など	60,424	1,890	0	10,000	
	⑤借上料	0	0	0	0	
	⑥保険料、消費税(租税公課)等	43,550	50,820	29,070	34,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	62,000	66,835	87,535	88,000	
	計	1,007,000	558,208	742,628	574,000	
	対前年度増減率		△ 44.6	33.0	△ 22.7	
区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
(2)施設コスト(B)	①管理委託費(外注費)	211,736	203,564	204,404	220,000	
	建物管理委託	211,736	203,564	204,404	220,000	
	②修繕費	77,973	60,060	62,643	100,000	
	③光熱水費	608,053	388,969	488,770	439,000	
	④燃料費	0	1,690	0	0	
	⑤清掃費	0	0	0	0	
	⑥保守点検費	0	0	0	0	
	⑦その他(施設消耗品)	109,238	103,235	108,455	110,000	
	計	1,007,000	757,518	864,272	869,000	
	対前年度増減率		△ 24.8	14.1	0.5	
(3)トータルコスト(施設管理費 合計) (A) + (B)		2,014,000	1,315,726	1,606,900	1,443,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	50.0	42.4	46.2	39.8
(5)施設の収入 ※1)下記3に入力する	135,500	128,800	155,900	
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	13.5	23.1	21.0	

Ⅲ 収支差額の状況 **注【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】**

(1)指定管理料のみで運営している施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設使用料収入	135,500			
b) 指定管理料	2,014,000			
収支差額 a)－b)	△ 1,878,500			

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設利用料金収入		128,800	155,900	
b) 収支差額(a－トータルコスト)		△ 1,186,926	△ 1,451,000	
c) b)に対する市の支出額(指定管理料)		1,451,000	1,451,000	

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況

(単位:円)

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額 a)－b)	0	0	0	
c) 指定事業・その他事業の収入				
d) 指定事業・その他事業の支出				
収支差額 c)－d)	0	0	0	

IV 担当課による評価

(1) 施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	設置目的を達成できている	3	夏期限定ではあるが、海洋性スポーツ実践の場として利用されており、市民のニーズに応えられる施設管理とサービスの向上に努める。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

(2) 利用者数の増加

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	前年度より50%以上増加している。	2	24年度と比較して、利用者数が増加しており、指定管理者の努力の成果である。新たなプログラムにより利用者増を図る。
2	前年度より増加している。		
1	前年度並みである。		
0	前年度より大幅に減少している(原因を追及する)。		

(3) 収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	黒字である。	1	指定管理者のB&G指導員資格取得推進により、効率的に教室を開催する。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額(赤字)が増えている。		

(4) 安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	指定管理者からプール開館前に「プール安全管理マニュアル」を提出させ、そのマニュアルに基づき配置職員を指導しているため問題無いと考える。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

(5) 本施設(事業)の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 (施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討)	2	設置目的は達成しているが、夏期限定のプール施設のため指定管理のあり方について再考する。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 (直営化、一定額指定管理料制度など)		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 (独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など)		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 (直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など)		

(6) 総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点(何を、いつまでに、どのように)
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	2	他の体育施設と一体的に管理することで効率的な人員配置を行い、経費節減に努める。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計

12

／18

V その他自由意見

--